みんなで支え合う地域食堂

松波のちやぶ台

千葉市社会福祉協議会 松波地区部会

令和7年1月28日 活動報告会資料

事業の概要

- 「子ども食堂」という枠にとらわれず「地域食堂」として活動する。
- 子どもから高齢者までの全世代を対象に食事を無料で提供する。
- 対象地域は松波町内と松波近隣地域とする。
- 孤立・孤食を防ぐ手助けと、栄養バランスのとれた食事の提供をする。
- 子どもが安心できる居場所づくりや子どもたちの学習格差の改善を目指す。

活動状況報告 ①

- 開催日時 祝日を除いた第1・第3金曜日 16：00から提供開始
- スタッフ 社協松波地区部会のメンバー10名（うち民生委員5名）
千葉市松波町会理事2名 町内在住の有志1名
千葉経済学園ボランティアセンターから大学生2～3名
千葉商業高校生徒数名（学業に支障が無い範囲で協力）
上記メンバーが各々の都合に合わせて従事
通常は午前中に4名前後 16：00の開始前までに数名が交代
また開始後も4～6名で適宜交代しながら負担軽減に配慮
高校生・大学生ボランティアが大きな手助けとなっている

活動状況報告 ②

●食事提供までのスケジュール

前日までの準備⇒食材購入・環境整備 当日⇒10:00から作業開始

●特に注意すべき点

食中毒の予防⇒機器材の消毒と食品の衛生管理を徹底
煮沸消毒とアルコール消毒を適宜併用

●子どもの居場所作り・子どもとのかかわり

来場した子どもたちが自ら下膳をしてくれる

地域のおばちゃんとして何気ない会話で交流している

●民生委員が配食

来場が困難な方などを対象にご自宅へ配食

活動状況報告 ③

●利用者について

子どもから高齢者までの全世代を対象とする『地域食堂』なので
様々な方が利用されている

- ・ご家族連れ
- ・ママと幼児
- ・ご高齢のお友だち同士
- ・小学生の兄弟
- ・お友だち家族
- ・おひとりで など

また 様々な理由で松波会館まで来るのが困難なかたのために
お持ち帰り(テイクアウト)の利用も多い

来場者約30食分 お持ち帰り約30食分で ほぼ同じ食数が出ている

付帯条件に対する取り組みについて

付帯条件

事業目的を広く発信し、理解が得られるように努めるとともに、寄付や企業からの補助金や協賛金などの資金調達を検討すること。

取り組み

社協松波地区部会のホームページでの発信

金銭の寄付ではなく物（主に食材）での寄付が増えてきている

2024年度公益財団法人船井幸雄記念館助成金公募に応募 → 不採用

次年度再チャレンジ予定

心がけている事

『声』を大切にしていこう

利用者の声

- 一人暮らしだと作れないものが食べられる
- 月2回でもご飯を作らなくていい日があってうれしい
助かる
- ちゃぶ台が生きがいの一つになった
- 家で待っている家族に持ち帰ることができて助かる

スタッフの声

けっこうたいへん だけど やりがいは感じる

- 「おいしい」という感想
- おかわりのリクエスト
- 利用者からの食材の寄付
- 配食を待ってくださっている などなど
- 利用者の笑顔
- 感謝の言葉

スタッフ同士の様々なやり取りが 情報交換や
楽しい会話の時間になっている

『ちゃぶ台』の目的・目標の共通認識を持てる
よう話し合いの場を設け今後の方向性を決めた

今後の予定

- 祝日を除いた 第1・第3金曜日に実施 ※天候不良の時は休止を考える
提供時間を16:00~17:45にする
- 8月は休止する
(町内の夏祭りやお盆休みと重なりスタッフの負担が大きくなるため)
- 中央区地域活性化支援事業に申請しない (実務担当者の負担軽減のため)
- 松波地区部会で立てるの予算の中でできることをやる
様々な方面に金銭面・物質面ともにご協力いただけるよう方策を練る

みんなで支え合う地域食堂

松波のちやぶ台

わいわい楽しくやっています
一度のぞきにきていただけるとうれしいです

千葉市社会福祉協議会 松波地区部会